

ふくやま 市議会だより

ばらのまち福山



FUKUYAMA

今回の定例会は

3月 6月

No.70

12月 9月

12月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会

発行日 / 2019年(平成31年)2月1日

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

松永湾に沈む夕日
(藤江町)

新春のごあいさつ	2
12月定例会の概要	2
議案の審議結果	3～4
一般質問	5～10
委員会の視察報告	11
議会報告会(福山市立大学)	12

新春のごあいさつ



議長
早川 佳行

皆さまには、お健やかに初春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

初めに、昨年7月の西日本豪雨において被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。市議会としても、引き続き災害に強いまちづくりを推進してまいります。

さて、本市では、福山駅前のにぎわい創出や福山城築城400年に向けた取り組みなど、活力と魅力にあふれた都市づくりを積極的に進めているところであります。

また、市議会では、次の一般選挙から議員定数を2名減らすことを決定したほか、タブレット端末を活用し、議会運営の一層の効率化に取り組んでいます。

今後とも、議会改革に取り組み中で、さらなる住民福祉の向上と市政の発展に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月定例会



平成30年12月定例会（12月3日～20日／会期18日間）の概要は次のとおりです。

3日 平成29年度の病院事業会計の決算認定並びに水道、工業用水道、下水道の各事業会計剰余金の処分及び決算認定について、*議案を審査した企業会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、採決し、原案のとおり可決および認定

平成29年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定について、議案を審査した一般・特別会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、採決し、12議案を認定
総務課長が1件の専決処分について報告

市長が市政の状況と35議案の提案理由を説明

請願1件を、紹介議員の説明の後、総務委員会に付託

10日～13日 議案や市政全般について21人の議員が一般質問

13日質問終了後 市長が9件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの補正予算案12件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の32議案は所管の常任委員会に付託

14日 4常任委員会それぞれ議案を審査

17日・18日 予算特別委員会で議案を審査

20日 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれの報告について採決し、44議案を原案どおり可決、請願1件は不採択

人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めることについて同意

議員提出の議会特別委員会の委員の定数変更案を可決

平成29年度一般会計・特別会計決算を特別委員会で審査

9月定例会に提案された平成29年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定議案12件を、一般・特別会計決算特別委員会（委員18人）において、10月9日から12日までと15日に審査しました。

9日と10日午前中に帳簿等の書類審査、10日午後と11日、12日に質疑を行い、各会計の予算

が効果的に執行されているかなどを審査しました。15日には、それぞれの会計について討論を行い採決し、決算特別委員会として、それぞれの決算を認定することに決定しました。

なお、この結果は12月定例会の初日（12月3日）に委員長報告を行いました。

* 9月定例会に提案されたもので、詳細については前号（No.69）に掲載しています。



この定例会で決まったこと
(一部をお知らせします)

【市長提出議案】

■補正予算

○ 手城川や瀬戸川流域などの水路等の堆積土の除去や雨水貯留施設の設計など水路維持改良費

○ 千田排水機場のポンプ更新の設計など土地改良区施設整備費補助

○ 冠水対策として水呑町、松永町の道路の嵩上げを行う道路新設改良費

○ 市立の小中学校の空調設備について、国の臨時特例交付金を活用し、来年度中の設置完了に向けて整備する費用など

■条例

○ 現行、入院は小学生まで、通院は就学前ま

での助成対象を入院、通院ともに中学生までに拡大し、条例の名称を「子ども医療費助成条例」に改めます。

また、所得制限の範囲が所得税法の一部改正による影響を受けな

いよう条例中の用語を改めます。(乳幼児等医療費助成条例の一部改正)

■その他

○ 指定管理者制度を導入している公の施設のうち、「ものづくり交流館」、「食肉センター」など平成31年3月末で指定期間が満了する施設の各指定管理者を、それぞれ指定します。

(指定期間は、平成31年4月1日から5年間)

平成30年12月定例会 議案の審議結果一覧

		○は賛成、×は反対							
付託委員会	議案名	水曜会 (13人)	公明党 (7人)	日本共産党 (4人)	誠友会 (4人)	市連 (4人)	市民新 政 クラブ (3人)	無所属 (3人)	採決 結果
企業会計 決算特別	平成29年度病院事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成29年度水道事業会計剰余金の処分及び決算認定	○	○	×	○	○	○	○	可決・認定
	平成29年度工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算認定	○	○	×	○	○	○	○	可決・認定
	平成29年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定	○	○	○	○	○	○	○	可決・認定
一般・ 特別会計 決算特別	平成29年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	認定
	平成29年度都市開発事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	認定
	平成29年度集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	認定
	平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	認定
	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	認定
	平成29年度食肉センター特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成29年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成29年度商業施設特別会計歳入歳出決算認定	○	○	×	○	○	○	○	認定
	平成29年度母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
	平成29年度誠之奨学資金特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成29年度財産区特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	認定	
予算特別	平成30年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度都市開発事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度駐車場事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決

次ページに続く

政治家は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等の挨拶状を出すことが禁止されています。

		○は賛成、×は反対							
付託委員会	議案名	水曜会 (13人)	公明党 (7人)	日本共産党 (4人)	誠友会 (4人)	市民新政治 連合クラブ (4人)	無所属 (3人)	採決結果	
予算特別	平成30年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成30年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成30年度工業用水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成30年度下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決	
総務	議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決	
	吏員の退職料等に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	可決	
	総合体育館条例の制定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(体育館等)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(自然研修センター)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び特別職の職員に対する期末手当の支給に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	可決	
	一般職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決	
国民健康保険税の引き下げを求める要望	×	×	○	×	×	×	不採択		
民生福祉	市立保育所条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	可決	
	乳幼児等医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決	
	重度心身障害者医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決	
	(仮称)ふたば法成寺統合保育所新築工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(加茂福祉会館)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(老人福祉センター)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(ふれあいプラザ)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(老人デイサービスセンター)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(内海生活支援ハウス)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(新市老人短期入所施設)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
公の施設(内海高齢者コミュニティセンター)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決		
文教経済	市立加茂小学校南棟校舎改築他工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	可決	
	市立伊勢丘小学校南棟校舎耐震改修工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(ものづくり交流館)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(食肉センター)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(福山城等)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(鞆の浦歴史民俗資料館等)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
建設水道	崖崩れ対策事業等分担金徴収条例の制定	○	○	○	○	○	○	可決	
	路外駐車場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	可決	
	調停の合意	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(御船駐車場等)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(三之丸駐車場等)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(駅西送迎専用駐車場等)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	公の施設(遊園地)の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	可決	
	市道路線の認定	○	○	×	○	○	○	可決	
委員会付託省略	人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めること	○	○	×	○	○	○	同意	
	議会特別委員会の委員の定数変更	○	○	○	○	○	○	可決	

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	340分
公明党	5人	210分
日本共産党	2人	150分
誠友会	3人	150分
市民連合	2人	150分
新政クラブ	1人	70分
無所属	2人	各30分

*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



小林 茂裕
水曜会 (60分)

芦田川河口堰の開放は

問 ①河口堰は工業用水確保等の目的で造られたが、現在の工業用水の運用状況は。
②自然と共生する芦田川の復活に向け、河口堰を開放した場合のメリットと課題は。

答 ①工業用水の平成29年度の実績は、25事業所へ供給し、契約

水量は日量5万9375立方メートル、日平均配水量は5万8722立方メートル、日最大配水量は9万5719立方メートルとなっている。
②河口堰を開放した場合、水環境の改善に加え、河川の自然流下による砂州の形成や汽水域の広がりによる親水空間の創出が想定される。しかし、課題として、海水の遡上に伴い、工業用水や農業用水の取水機能が失われること、周辺地域において塩害が発生すること等が想定される。



熊谷 寿人
水曜会 (60分)

保育中の事故の対応は

問 ①事故の検証の進捗状況は。
②再発防止に向けた取り組み、また、万が一にも事故が起きた場合の適切な対処等、今後の対策は。

答 ①検証委員会を設置し、事故の原因究明と再発防止策を検討

する。学識経験者、弁護士、医師保健師、栄養士、保育関係者を委員として、12月21日に第1回の検証委員会を開催する。委員会で得た意見は、報告書として取りまとめ公表する。

②報告書の内容を踏まえ、保育施設では、危機管理対応マニュアルや離乳食のしおり等各種マニュアルの見直しを進める。

また、低年齢児保育の研修や救命救急講習も積極的に実施し、その状況を点検し、課題がある場合には改善を図るなど事故の再発防止に努める。



高田 健司
水曜会 (55分)

福山駅北口広場整備に対するJR西日本からの提案は

問 本市が策定中の福山駅北口広場整備基本方針の選択肢となるよう、JR西日本から提出された提案書の内容と提案に対する本市の受け止めは。

答 提案内容は、福山駅前広場のJR西日本の所有地と駅北口広

場の本市の所有地を交換し、駅前広場は、全て本市の所有地、駅北口広場は、全てJR西日本の所有地とするものである。
その上で、駅北口広場に駅周辺地域のにぎわい創出と駅南北の回遊性創出の観点から必要な送迎機能に加え、商業機能やホテル、福山城を望む展望広場を備えた施設等を建設するものである。
本市が進める中心市街地活性化に向けた取り組みに沿う提案であると感じている。

*12月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



大田 祐介

水曜会
(55分)

移植医療の推進は

問 臓器提供は命の贈り物であり、人生最後の善意の証しである。

答 ①市民病院における臓器提供の実績と取り組みは。
②市民の臓器提供の意思表示は。
③過去10年間で脳死後3件心臓が停止した死後1件である。

これまで、院内へのポスター掲示や窓口へのリーフレット設置などで周知を図るとともに、入院時の書類に臓器提供意思表示カードの有無を記入していただく取り組みも行っている。

②本市ではアンケート調査を実施していないが、日本臓器移植ネットワークの調査によれば、既に臓器提供の意思表示をしている人が14・3%、意思表示をしてみたい人が23・9%、意思表示をしたいとは思わない人が25・1%、分らない人が36・6%となっている。



榊原 則男

水曜会
(55分)

JR道上駅前の環境整備は

問 神辺町道上地域は、近年人口増により福塩線「道上駅」の利用者が急増しており、それに関連して周辺整備の遅れが目立つが、現状認識と改善策は。

答 近年は、福塩線各駅の中でも特に道上駅の利用者が増加傾向にある。



JR道上駅前

2013年には120台収容の駐輪場を約200台収容できるよう拡張整備し、混雑の解消を図ってきた。

引き続き、利用実態や駅周辺の状況を踏まえ、利用者への利便性向上に向けて可能な対応策について検討する。



喜田 紘平

水曜会
(55分)

LGBT(性的少数者)への現状は

問 LGBTの理解促進や支援、啓発は。

答 市職員への正しい理解促進に向け具体的事例に基づく研修も実施する。相談窓口は、安心して相談できる体制づくりに取り組む。当事者の皆さまから意見もいただく

きながらより効果的な啓発活動を行う。小中学校では、教職員や児童生徒が個性や多様性、違いを尊重し合う関係をつくり、悩み等を抱える児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめや差別を許さない学校づくりに取り組む。

教員の働き方改革は

問 教員が児童生徒とより向き合えるための時間の確保策は。

答 部活動指導員の導入の検討や、ICT教育機器の整備を始めており、時間確保に努める。



宮地 徹三

公明党
(50分)

防災対策は

問 ①7月豪雨の課題検証は。
②浸水対策は。
③防災重点ため池の管理は。

答 ①防災対策検討会議での検証内容は、自主防災組織による避難場所の開錠や分かりやすい避難情報、災害対策本部と自主防災組織のホットライン構築などである。

②「二度と床上浸水被害は起こさない」との強い決意の下、福山市域における浸水対策協議会で発生要因などを検証。県管理河川は瀬戸川など20河川で河道しゅんせつを実施予定で、手城川流域は抜本的な内水排除対策を短期間で集中的に実施すべく検討を詰めている。
③新たな選定基準による候補箇所を市が県に報告し、県が選定する。県の浸水想定区域図を基に市がハザードマップを作成するほか、ため池管理者とも連携し、使用されていないため池の廃止など安全管理や必要な対策工事に取り組む。

※河道しゅんせつ：河川が流れやすくなるよう、川底にたまった土砂を取り除くこと。



門田 雅彦
公明党 (45分)

がん相談支援は

問 市民病院の「がん相談支援センター」の成果と課題は。

答 がん相談支援センターではがん患者やその家族、市民からの相談への対応、情報交換の場や市民公開講座の開催等を通じ、がんに関するさまざまな支援を行っている。2017年度は、4026



生田 政代
公明党 (40分)

5歳児発達相談は

問 2016年度から保育所幼稚園等で5歳児発達相談が実施されている。今後の課題は。

答 5歳児発達相談は、集団生活における子どもの課題を早期に発見し、支援に結びつけ、スムーズな就学につながることを目的に、質問票を活用した相談を行うもの

件の相談に対応した。その主な内容は、医療費や社会保障制度、精神的不安や苦痛、治療後の社会復帰などに関するものであった。

こうした取り組みを通じ、がん患者やその家族の不安の軽減、市民へのがんに関する正しい知識の普及に寄与しているものと考えている。

今後、医療の高度化に伴い、相談内容は多岐にわたり、より専門性の高い対応が求められる。患者の思いに一層寄り添いながら、幅広い世代の支援に努めていく。

である。課題は、全150施設で実施できていないことであり、引き続き相談の拡大と定着に努める。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の取り組みは

問 肺炎は、高齢者になるほど重症化しやすい。高齢者への肺炎球菌ワクチンの定期接種については、今年度が最終年度であるが、受け忘れた方や接種できなかつた方の救済措置は。

答 現在、国の厚生科学審議会において検討中である。



奥 陽治
公明党 (40分)

保育行政は

問 市立保育所の事故における検証と再発防止は。

答 検証委員会を開催し、意見を報告書として取りまとめ公表する。その後、保育施設においてマニュアルの見直しなどを行い再発防止に努める。また、家庭での事故防止のための啓発を行う。



宮本 宏樹
公明党 (35分)

AIを活用した道路管理システムの導入は

問 他都市では、路面の点検について、ICTやAIを活用した道路管理システムの構築を推進しているが、本市も積極的に取り入れるべきでは。

答 本市は、職員による定期点検や道路パトロールのほか、土木

防災行政は

問 ①「福山市域における浸水対策協議会」の協議の経過は。②防災意識向上への考えは。

答 ①河川流域ごとに当面の対策と中・長期対策を今年度中にまとめる。今後も県河川の改修事業を加速し、水路改修や排水機の増強など浸水対策に全力で取り組む。②学区・地区防災（避難）計画を踏まえマイタイムラインの作成を推進し、防災訓練等を通じ市民と防災や減災の意識の共有を進める。

常設員や市民との協働による情報提供などにより、道路施設の適正な維持管理に努めている。現在、他の自治体で実証実験が進められている人工知能（AI）を活用した道路管理システムは、目視で行っている点検をAIに委ねるものである。



こうした先端技術の導入も視野に入れ、より効率的、効果的な道路管理に努める。



土屋 知紀
日本共産党
(75分)

降下ばいじんの成分分析と結果の公表を

問

降下ばいじんの苦情について、現地調査の際の捕集、成分分析と結果の公表を求める。

答

本市では、1966年度から10地点で調査を開始し、現在、15地点で成分分析を含め、定点調査を行っている。大気環境測定



高木 武志
日本共産党
(75分)

LGBT支援策は

問

2020年の東京オリンピックが性的マイノリティーの人たちの人権と多様性の尊重を掲げ行われる最初の大会となる。①国に対し、LGBT差別禁止の立法化を求めること。②本市もパートナーシップ条例の制定を行うこと。

データは、環境白書やホームページで公表しており、年内には気象情報等に加え、月別のより詳細なデータを公表することとしている。

再生可能エネルギーの利用促進を

問

木質バイオマスエネルギー利活用のための検討会の創設と推進体制の構築を求める。

答

未利用の木質資源をエネルギー源として活用することは地球温暖化対策に有効である。第二次環境基本計画（素案）で木質バイオマス資源の利用方法を検討する。

③多岐にわたる相談内容に対応できる専門の相談窓口を設置すること。

答

①国において適切に判断されるものと考えている。
②啓発活動のさらなる推進や職員研修の充実、当事者の思いに寄り添った相談体制の構築など、当事者団体とも連携する中で、具体的な解決策を検討していく。
③市と専門的人材や関係団体との連携による一体的な相談体制の構築が必要と考えており、安心して相談できる体制づくりに取り組む。



平松 正人
誠友会
(60分)

リノベーションのまちづくりは

問

リノベーション1号案件の事業化は。

答

第1回リノベーションスクールの提案事業のうち、飲食店とゲストハウスを組み合わせた事業が伏見町でスタートした。フクビズと広島銀行が連携した駅前再生事業の融資制度適用の第1号で



能宗 正洋
誠友会
(45分)

※グリーンスローモビリティ実証実験は

問

鞆の浦と走島での実証実験の成果と課題は。

答

鞆の浦と走島では高齢化が進み、狭い道路や急な坂道が多く買い物や通院などの暮らしを支える移動手段や、高台にある観光名所への散策の移動支援といった地

もある。また、リノベーションの取り組みは民間事業者の自主的な取り組みを誘発しておりさらに面的に広がり中心市街地の魅力が高まることを期待している。

避難行動要支援者避難支援プラン(個別計画)は

問

個別計画の取り組みは。

答

計画は現在、58学区で作成され、制度内容を広報紙等で広く周知している。新たに防災リーダー連絡協議会と連携し庁内関係部局が一体となり地域に働きかける。域課題がある。

こうした課題解決のため、小型の電動低速車を活用し、その有効性について実証実験を行った。実験期間中の2週間で、1071人という多くの方が利用されるなど、住民や観光客の利便性向上やにぎわいの創出に一定の効果があつたものと考えている。
今後、本格運行に向けて、今年度中にアンケート調査結果の分析や検証を実施し、その後、地元住民や事業者と協議、検討を行っていく。

※グリーンスローモビリティ：電動で、時速20キロ未満で公道を走る4人乗り以上の乗り物。



徳山 威雄
誠友会
(45分)

治水対策は

問 7月豪雨の抜本的な浸水対策について問う。

答 今回の豪雨は、観測史上最大の雨量により、浸水面積が県内最大の約2000ヘクタールに及ぶなど、広範囲で甚大な浸水被害が生じた。
このため8月に、国、県とともに



法木 昭一
市民連合
(75分)

福山市立大学の公立大学法人化は

問 2011年4月に開学した市立大学は、2021年度から公立大学法人化の考えが示されたが、この間の大学運営の評価と、法人化による影響などは。

答 2016年度の認証評価では「キャンパスは街、学ぶのは未来」というスローガンを掲げ、地

に、福山市域における浸水対策協議会を立ち上げ、浸水地域ごとに多岐にわたるデータの収集、分析さらには、計画の大幅な見直しなど検討、協議を重ねており、現在は対策事業の内容について詰めを行っている段階である。

被災された市民の不安な思いを聞き、しっかりと受け止める中で「二度と床上浸水被害は起こさない」との決意を申し上げている。これまで、国や県に対して実情や要望を訴えてきた。再度、災害防止に向け、国、県と連携して全力で取り組んでいく。

元等と連携して特色ある授業科目を開講し、地域等の多様なニーズに定める教育を展開している点、また、卒業生の就職率の高さなどが評価された。

法人化するメリットは、予算や人事制度などにおいて裁量性の高い弾力的な運用が可能となることや、中期目標・計画の策定が義務付けられることで、より明確な活動方針の下、自立した大学運営が可能となる。一方で、法人設立に伴い、役員の配置や財務など新たな事務の発生による経費や体制の整備が必要となる。



池上 文夫
市民連合
(75分)

A型事業所の経営破綻問題は

問 ①障がい者の就労継続支援A型事業所「しあわせの庭」が経営破綻し、利用者106人が一斉解雇された問題について11月19日、県は検証結果において、県と本市の行政責任を明らかにしているが、本市の受け止めは。

②解雇された障がい者の再就職の支援は。

答 ①事業者の指定、指導が形式的、表面的であったとの指摘を重く受け止めている。既に、中小企業診断士など外部の専門家の活用による指導監督体制の強化などに努めているが、改めて本市の責任を果たしていく。また、連携して国に制度改正を要望する。
②合同就職面接会等への参加を促すなど支援に取り組んできた。引き続き、個々の生活実態を把握し伴走型の支援を進めていく。



宮地 毅
新政クラブ
(70分)

災害に対する本庁舎地下の電源設備の対策は

問 市役所本庁舎地下にある電源設備は、芦田川等の決壊により浸水すると停電になり本庁舎の機能が失われる恐れがあるが、移動等の計画は。

答 本庁舎の受変電設備や非常用発電機など主な設備は、全て地

下に設置されていることから、地下が浸水した場合には電源が喪失することを強く懸念している。

本庁舎は、防災拠点として災害時においてもその機能を維持する必要がある。そのため、現在、受変電設備や非常用発電機の移設も含め、浸水リスクによる影響を回避するための抜本的対策を検討している。

今年度中には、本庁舎設備整備基本計画を策定し、早期に具体化を図っていく。



おかざき 正淳
まさはる
無所属
(30分)

合併地域4町のまちづくりは

問

①建設計画、支所機能、住民の意識等の現状認識は。

②合併特例債が20年に延長されたが、本市の対応は。

答

①建設計画は一部の事業に進捗の遅れはあるが、おおむね順調に進んでいる。支所機能や地域に対する行政支援などについて、



いしおか 久彌
ひさはる
無所属
(30分)

郷土愛の醸成のため市民が嫌がる行政を廃止、撤廃すべきでは

問

市民の行政不信を拡大させ、郷土愛を減退させていると思われる市民が嫌がる行政、具体的には①同和行政一般施策（人間環境都市宣言、差別をすすめる旨の看板・広報紙・市民憲章、住民学習会等）の撤廃、②

有識者も交え検討を行っている。
②沼隈町と神辺町の事業の進捗を確認する中で期間延長を検討する。

関係人口創出モデル事業は

問

①事業に取り組む狙いは。
②事業具体化への本市の役割は。

答

①過疎地域等において地縁によらない新たな担い手を創出し地域活性化につなげる試みで、内海町と山野町で外部人材と市立大學生が連携して取り組んできた。
②地域と共に事業を具体化するため関係部署が協力し、支援を行う。

市職員労働組合とのいびつな労使関係（不信極まる選挙活動、庁舎内事務所の無償貸与等）の是正を早期に実施すべきでは。

答

福山には重厚な歴史、文化資源が数多くあり、車座トークでは地域への愛着と未来への期待等の声を多く聴いた。自治体を取り巻く環境が大きく変化しているが都市の活力と精神的な豊かさを求める声に応えたいとの思いを新たにしている。輝く都市の実現をめざし、市民の皆さまと共に5つの挑戦を深化させ全力で取り組む。

本会議・委員会の傍聴のご案内

本会議や委員会は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、会議の当日、本会議は議会棟5階の傍聴受付で、委員会は議会棟2階の議会事務局庶務課で受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は受け付け順に交付します。

「3月定例会の開催予定」は次のとおりです。

3月定例会の開催予定

日	月	火	水	木	金	土
2/24	25	26	27	28	3/1	2
	★本会議 (市長総体説明など)			議会運営委員会		
3	4	5	6	7	8	9
	★本会議 (代表質問)	★本会議 (代表質問)	★本会議 (代表質問)	★本会議 (一般質問など)	常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	
17	18	19	20	21	22	23
		議会運営委員会 ★本会議(委員長報告など)				

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。(ただし、3月19日の本会議は午後1時からの予定。)

○★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎084-928-1136

■総務委員会 (10月22日～24日)

文京区：青少年プラザ(ビラボ)について
 名古屋市：防災・減災の取り組みについて
 岐阜市：多文化共生について

文京区では、以前から中高生の居場所づくりが課題となっていたため、中高生が主体的に社会性を身につけ、自らの可能性を広げられる居場所となるよう中高生に特化した青少年プラザを開設しました。多くの中高生が集い活気のある施設でした。名古屋市の防災・減災の取り組みでは、民間のウェザーニューズと契約を結んだ、なごや減災プロジェクトなど今後の参考になりました。岐阜市の多文化共生では、今後増加が予想される外国人市民との交流など、多様性を受け入れる環境を整える取り組みの必要性を感じました。(委員長 連石武則)



文京区

■民生福祉委員会 (10月24日～26日)

川崎市(日本理化学工業(株))：障がい者雇用の取り組みについて
 渋谷区：パートナースhip条例について
 吹田市：子どもの貧困対策について



日本理化学工業株式会社

川崎市のチョーク製造会社、日本理化学工業株式会社では社員の7割以上が知的障がい者で、視察時に、仕事に取り組みにくい現場を見せていただきました。渋谷区では、男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例の制定過程や課題を詳しく聞くことができました。吹田市では、子どもの生活実態アンケートを基に、4つの重点施策、7つの基本支援の具体的施策について学ぶことができました。(委員長 西本章)

任 委 員 会 報 告
 常 委 視 察 報 告

■文教経済委員会 (10月29日～31日)

仙台市：起業支援センターアシスタについて
 郡山市：ICT教育について
 武蔵野市：武蔵野クリーンセンターについて

仙台市では、持続的な地域経済発展のため「日本一起業しやすいまち」の実現に向け、事業プラン、起業の準備、起業後の事業安定等、起業全般の課題解決をサポートする取り組みを行っており、本市での起業支援の参考になりました。郡山市では、「教育の情報化」推進計画を策定し、市立中学校へのソフトウェアやプロジェクター等の周辺機器の整備を含め、ICT環境の整備を推進されています。教員もICTを活用し、児童生徒に「わかる授業」が提供できるようICT活用指導力の向上に取り組まれていました。(委員長 生田政代)



仙台市

■建設水道委員会 (10月29日～31日)

春日井市：先導的モビリティに関する取り組みについて
 千葉市：AIを活用した道路補修効率化について
 浜松市：新技術によるインフラのメンテナンスサイクル構築に向けて



千葉市

AI、ICTを活用したスマート自治体をめざして先進3都市を視察しました。春日井市では、自動運転車両や車いす型のパーソナルモビリティ等の新たな移動手段とバス、タクシー等の既存交通とのベストミックスに向けての実証実験、千葉市では「ちばレポ」という本市の市民通報アプリ「パ撮ローズ」の上を行く市民協働コミュニケーションツールの運用、浜松市では、カメラを積んだ車で走るだけで道路のひび割れ等をチェックするというICTを活用した道路点検手法を学びました。(委員長 大田祐介)

各特別委員会では、今後のまちづくりに役立てていくため、次のとおり、先進都市の取り組みを視察しました。

■行財政改革特別委員会 (11月12日～13日)

豊橋市：行財政改革プランの取り組み、評価・検証の仕組みについて
 秦野市：公共施設再配置の取り組みについて

■都市整備特別委員会 (11月8日～9日)

熊本市：白川 熊本駅周辺かわまちづくりについて
 薩摩川内市：川内川 向田地区かわまちづくりについて

■地方創生調査特別委員会 (11月7日～8日)

北九州市：ウーマンワークカフェ北九州について
 若者ワークプラザ北九州について
 佐世保市：移住・定住の促進について

大学で初の議会報告会 活気ある議論で盛り上がる



今回初めてとなる市議会主催による大学での議会報告会を、11月6日、福山市立大学で開催しました。開催に当たっては大学側の協力を得て、学生の参加しやすい時間帯での開催としました。

最初に議会の仕組みや、市政における当面の課題、それらに対する議会としての取り組み等について報告を行い、その後、学生からの質問を受け、続いて意見交換会となりました。

参加した学生からは、議員定数の問題、新総合体育館の活用、災害への対応、子どもの貧困問題、議員発議で制定した受動喫煙防止条例について等、積極的な質問や意見が出され、活気ある会となりました。

当日の参加者アンケートにも継続しての開催を望む声がありました。アンケート等を参考にして、市内の他大学も含め、より充実した議会報告会が今後も継続してできればと思います。

木村秀樹議員逝去



木村秀樹議員（53歳）が、昨年10月26日にご逝去されました。
木村議員は2期6年の間、建設水道委員会委員長、地方創生調査特別委員会委員、市議会だより編集委員会副委員長などを務められ、市政の発展に大きく貢献されました。
木村秀樹議員のご冥福をお祈りいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
本年は「平成」最後の年明けとなりました。
昨年、自然災害など市民の生命、財産を脅かすような甚大な被害に見舞われました。本市では、災害等課題について、迅速な解消に取り組んでいます。

さてこのたび、編集委員会では、市民の皆さまに分かりやすい編集に向けて、昨年の視察で学んだことを取り入れ、次期定例会の日程をカレンダー方式に変更しました。

また、議会の運営状況をガラス張りでご報告できる議会だよりの編集に取り組んでまいります。
(平松止人)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

